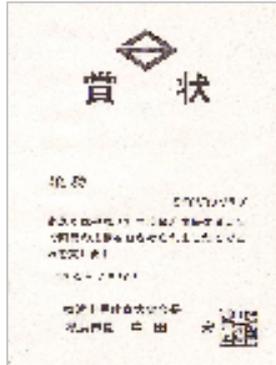


TRICOLOR

Top 横浜市民大会優勝！！

Top チームが「横浜市民大会」において2年ぶり2度目の優勝を飾りました！

1月11日(日)にニッパツ三ツ沢競技場で行われた決勝戦では、多数のクラブ関係者皆さまのご声援のおかげで、苦しみながらも1-0で勝利することができました。



小学生保護者 学年対抗フットサル大会

初めての試みとして「小学生保護者学年対抗フットサル大会」を下記のとおり開催することになりました。皆さん、奮ってご参加ください！

■主旨

- ①小学生(幼児含む)の学年ごとの親睦。
- ②見るだけではなく、実際にプレーすることによりサッカーやフットサルの面白さや難しさを理解いただく。

■主催:かながわクラブ

■期日:2/11(水・祭)12:00-15:00

■会場:港北小校庭(2面同時進行)

■時程

- *12:00 集合・説明・W-up
- *12:40 第1試合
- *13:05 第2試合
- *13:30 第3試合
- *14:00 3決・5決
- *14:20 決勝
- *14:35 試合終了・整備
- *15:00 撤収完了

■参加資格

*原則かながわクラブ各学年の保護者及び同居の家族(成人に限る)。但し、参加状況を見て臨機応変に対応する(特に女性の場合は中学生でもOKにするかも??)。

*各学年担当コーチが混ざることもあります。

*問題があった場合、当日協議して進めたいと思います。あくまでも主旨をご理解下さい。

■ルール

*6 チームを3チームずつ(偶数学年と奇数学年)に分け、リーグ戦。のち同順位戦で最終順位を決定する。各チームとも3試合。

*1チーム5名(うちGK1名、1名以上は女性であること)。

*試合時間は、6分ハーフ(インターバル3分)。

*試合中、必ず1名以上の女性がコートにいること。

*ボールとピブスはクラブで用意します。

*審判はコーチが行ないます(1名制)が、女性への不用意な接触プレーはセクハラとなり警告対象です。もろもろ弱者保護の観点でジャッジします。ご了承下さい。

*できれば「すねあて」を着用下さい。

■表彰:優勝チームには、W杯トロフィーをもつての記念撮影の権利が与えられます。

■事故や怪我の場合

*応急処置はクラブにて対応いたしますが、各自の責任においてご参加下さい。

*クラブで保険に加入しますが、補償内容が貧弱なことをご了承下さい。

■エントリー方法

*事前エントリーは必要ありません。当日までにチームが編成できれば大丈夫です。人数不足等の場合は当日考えましょう。

■組み合わせ

*Group-A: 幼児小1・小3・小5

*Group-B: 小2・小4・小6

※試合順は当日決定

初回なので何が起きるか想像できない部分があります。が、あくまでも主旨を尊重いただき、参加した皆さんが楽しめることが大前提です。皆さんのご理解・ご協力のもと楽しい時間を過ごせたらと思っています。

かながわフェスティバル日程

1年に1度のかながわクラブ最大のイベント「かながわフェスティバル」。クラブの仲間たち全員で楽しい一日を過ごしましょう!

今年度の日程が決定しましたので、下記のとおりお知らせいたしますので今うちからスケジュールを空けておいてください。なお、詳細は別途ご案内させていただきます。

期 日	3月15日(日)
時 間	12:00-16:00
会 場	しんよこフットボールパーク
内 容	全クラブ員混合 ハーフコートゲーム大会
対 象	全クラブ員

新年度の登録更新および事務手数料の納入について

【幼児/小学生/Papas クラブ員の皆様・保護者の皆様へ】

今年度は、従来と大きく変更になっておりますので、お間違えのないようご注意ください。

①登録の自動更新について

毎年この時期に登録申込書を提出いただき、翌年度の活動の意思確認をさせていただいて参りましたが、事務作業の効率化を図るべく、今回より「自動更新」とさせていただきます。これにより、退部や休部を除き、申請は不要となります。ただし、小6・中3・高3は4月からは生活環境が変わることから、一旦費用の引き落としを停止させていただきます。

②事務手数料の納入月変更について

毎年4月には、クラブ費の他に事務手数料(登録料・保険料・大会参加費充分)を引き落とさせていただいておりますが、3月中に納入するそれらの金額が膨大になっており、昨今の経済状況とあわせて、クラブにおいて立て替えるのが困難な状況になっております。つきましては、大変恐縮ですが、事務手数料を3月のクラブ費とあわせて引き落とさせていただきたくお願いいたします。これに伴い、4月以降の活動を希望されない場合は、2/15までに事務局までお申し出いただくこととなりますが、転勤等により現時点で判断できない場合も多いと思われま。そのような場合には一旦引き落としを行ないませんが、継続困難なことが確定した時点で返金をさせていただきますのでご了承下さい。

2/15は2月末での退部・休部の申請締切日でもありますので、メールやFAX等において、必ず「2月末での退部」「3月末での退部」を明確にお申し出下さい。

また、4月から休部、又は前年度より引き続き休部される場合でも、事務手数料は引き落とさせていただきますのでご注意ください。

③4月からの開設カテゴリーの費用や活動詳細について

Top・Mistralを除き、他のカテゴリーは現状と変更ありません。詳細は下記をご覧ください。

<http://www.kanagawaclub.com/HB/kaisetsu2009.htm>

■自動更新について

*4月以降も本クラブでの活動をされる場合
→手続き不要

*3月一杯で退部(休部)を希望
→クラブ事務局宛に、2/15までに「3月一杯で退部(休部)希望」と連絡

※2月末での退部(休部)をご希望の場合も同日が締め切りですので、期日をお伝え下さい。

*転勤等により継続が不明の場合

→一旦引き落としますが、後日返金いたしますので、確定した時点でクラブ事務局までお申し出下さい。

*現在の小6・中3・高3

→一旦停止します。

■事務手数料の納入月変更について

*今回より3月分のクラブ費と併せて引き落とさせていただきます。

*4月から休部、又は前年度より引き続き休部の場合

→事務手数料のみ引落とさせていただきます。

※事務手数料は登録料・保険料・大会参加費に充当するためです。ご了承下さい。

■お問い合わせ

かながわクラブ

内田 佳彦

TEL:045-370-3390/FAX:045-381-8884

携帯:090-3499-3098

※なお、同じ内容はクラブ員専用掲示板にも掲載してあります。

大会・公式戦結果

Top

【H19 年度横浜市民大会】

▼決勝

vs 港北クラブ 1-0○

小6

【県少年選手権】

▼1回戦

vs 百合丘子どもSC 1-3●

【区少年選手権】

▼1回戦

vs ミツ沢ダックス 5-1○

小5

【横浜少年サッカー大会】

▼2回戦

vs FC プラタノ 2-1○

Papas

☆O-40

【市シニアマスターズ】

vs Jクラブ

0-1●

今、グラウンドでは...

Top

横浜市民大会では暖かいご声援ありがとうございました!

かながわクラブの皆さんのご声援があったからこそ勝利だと思います。

「優勝」できた感謝の気持ちも込め、先日残念ながら中止となってしまった「Happy football day」を近いうちに行いたいと思っていますので楽しみにしててください!

2009年は市民大会優勝という最高のスタートを切ることが出来たので、この勢いで県社会人選手権や県リーグの優勝を目指して頑張ります!

今後も Top チームへの暖かいご声援よ

るしくお願いします。

(キャプテン眞弓 一弥)

【選手紹介⑦】

横浜市民大会の応援ありがとうございました。

今回の選手紹介は市民大会でも活躍した18大川選手です。

一昨年かながわクラブに入団し、チーム事情から本来のFWからサイドバックにコンバートされ、県リーグ戦でもチームに欠かせない存在になりつつあります。大川選手の持ち味は、豊富な運動量で積極的な攻撃参加、そこからのクロスは攻撃の鍵になります。また、多少不安定だった守備面でも粘り強くなり、安定した守備力を兼ね備えるようになりました。

大川選手の一番のセールスポイントは練習に積極的に取り組み、自分の課題を克服しようとしている姿勢です。周りからのアドバイスを聞きながら、自分でどのようにすればよいのかを考えながら練習に取り組んでいます。

来年のリーグ戦ではさらに進化した大川選手が見られると思います。

今後の大川選手にご期待ください。

(中本 洋一)

大川選手からのコメント



昨年からリーグ戦にだいふ出られるようになったのですが、途中でケガをしてくわしい思ひをしたので、今年

はケガをせず練習、試合と自分のベストを出すことができるよう日々がんばっていきますので、応援よろしくお願いします。

Youth

U-17 リーグが終了したとたん、怪我人や体調を崩す人が続出し、なかなか思うようにトレーニングが進まない状況です。

4月から始まる日本クラブユース選手権関東予選は45分ハーフで行なわれますので、今の時期はしっかりと走りこみ、戦える体作りに励もうと思っています。といっても、ただ走るのはつらいだけです。ゲーム形式のトレーニング中心です。皆さんの

一日も早い回復を祈ります。(内田 佳彦)

Junior Youth

この時期恒例の「J-VILLAGE 遠征」に行ってきました。

毎年J-VILLAGEに行くと、その環境のおかげで、選手たちは朝から晩までサッカーを思う存分楽しんでいます。

また、その一方で宿泊を伴う遠征は、子供たちに「自立」を促す良い機会でもあります。「自立」とは、誰にも助けられることなく、指示されることもなく自分の意思で物事を決められるということです。これはまさにサッカーのプレーにも当てはまります。選手は、一度ピッチに立ったら1つ1つのプレーをベンチからの指示やサインにより行うわけではありません。そのときの状況によって自分自身で判断してプレーしなければならぬのです。

だからこそ、親元から離れて生活する遠征では、選手たちにこの部分での働きかけをする絶好の機会となります。例えば、遠征中には、選手たちに必要最低限の時間しか伝えません。消灯時間も決めません。あとは、選手たちが自分で考えて行動するだけです。当然、1年生は戸惑います。でも、そこは経験ある3年生や2年生が面倒を見る。そうすることで自覚や責任が出てくる。そうやって子供たちが成長して行くのだと思っています。

もちろん、3日間という短い期間で劇的な変化が見られるとは思っていませんが、遠征を「きっかけ」として捉え、日常に戻った時にその経験を生かして習慣化してくれることを期待しています。この部分での成長が今後のサッカーのレベルアップには必要不可欠となってきます。また、これらのことはサッカー以外の様々な局面においても有効となってくるはずです。

こうして子どもたちが、サッカーとともに、人間的にも成長していったらと考えられています。(二木 昭)

小 6

【神奈川県少年サッカー選手権大会】

6年生最後の大会となります。初戦はグラウンド状況が悪く、なかなかパスが繋がらず、ドリブル主体になったせいで、マイボール時もポジションングが中央に寄って

しまい、大きなグラウンドを活かしたサッカーが出来ませんでした。徐々になれ、後半は空いたスペースに走りこみ、そこにボールを運ぶといった形からも得点が出来ようになりました。その結果5-1で勝利することが出来ました。いいサッカーをしているチームが勝てるようこれからも祈っています。

【ジュニアユース(JY)にむけて】

卒業まで残すところ2ヶ月となりました。今のこのチームをもう1ランクステップアップするために、新一年生だけで1チームできるぐらいの人数はJYで続けて欲しいと考えています。JYでは試合に出場できるチャンスは多くありますし、一年生で1チームできれば公式リーグに参加できる可能性も広がります。そうすると一年生時からチームとしても、個人としても、大きくステップアップが出来ると思います。6年生の一年間で自分が大きく成長したと感じている人は多いと思います。中学生では環境、指導者等によっては、更なる成長が期待できます。このチームをあと2ヶ月で終わらせないためにも、JYの参加を真剣に考えて欲しいと思います。

今後、中学生と合同で活動する機会があると思いますが、積極的にジュニアユースの人たちに話しかけ、色々教えてもらったり、自分自身で観察し吸収したりと、積極的に試合に出られるように練習しましょう。今は体格やスピードが違うため、自信が出ないかもしれませんが、恐れず自分の今持っている力を少しでも伸ばそうと努力していれば、その内出来ることが増えてくるはずですよ。頑張ってください。

(益子 伸孝)

小 5

1月25日(日)みなとみらいスポーツパークにおいて、横浜少年サッカー大会2回戦の対FCプラタノ戦が行われました。

立ち上がりは相手に攻め込まれましたが、徐々にながわがペースを握りだすと攻撃時間も長くなり、待望の先制点。その後も攻め続けるが追加点を奪えず、1-0のまま前半終了。

後半の開始と共に予定通りの選手交代を1名。後半10分になる前くらいに追加点し、後は「一人でも多く出場させつつ、無

失点で追加点」などと欲張りなことを考え 2 名投入すると、やはり「二兎追うものは一兎得ず」、中盤でボールを奪えなくなると失点し、2-1。しかも残り 7 分以上。「同点にされる？」と頭によぎりましたが、選手達が踏ん張りそのまま試合終了。私の采配ミスのおかげで、終了前にもう 1 名の交代しかできませんでした。

次の相手は、日の出キッカーズと白根の勝者です。この記事が読まれるときにはどうなっているのかわかりませんが、ひとつでも多く勝てるよう、応援お願いいたします。(高田 成典)

小 4

【理想は、良いプレー= 勝利】

1 月中旬に行われた練習試合当日は所用によりお休みをいただいたため、6 年生担当の益子コーチに指導をお願いすることとなりました。担当外のコーチの目に、現状の 4 年生はどのように映ったのでしょうか。以下、益子コーチからの報告です。『全体的に思ったことは、縦へ急ぎすぎず点(自分の可能スピードを超え、相手に突っ込む)、シュートへのイメージがない点でしょうか。相手ゴールに近いエリアでは、トラップ、ダブル、こぼれ玉のどれもがシュートのためにあることをほとんどの子がまだ意識出来ていないと感じました。でも、相手をかわす、ボールを運ぶという点は驚かされました。だいが伸びているな〜と感心しました。サッカーを楽しむという意味では全員満点でした。』

お褒めの言葉をもらおうと同時に、課題についても鋭い視点で触れてくれました。試合の結果を左右するのは、両ゴール前でのパフォーマンスに尽きます。この翌週の試合では、相手ゴール前において良いボールの持ち方ができなかったためにシュートチャンスを逃し、また自陣ゴール前では相手のCKから簡単に得点を許してしまうというシーンがありました。サッカーは他のボールゲームと同じように、相手より 1 点でも多く得点を決めたチームが勝つスポーツなのです。もっと食欲にフィニッシュを狙ってもらえるよう、子供たちにはたらきかけていくつもりです。

サッカーの楽しさは、相手と味方の状況に合わせて瞬間的にドリブルとパスの判断をし、相手の裏(逆)をつきながらゴール

を決めるところにあるのだと思います。意図のないキックやドリブルを連発し、たまたま 2-0 で勝つような試合をしては、サッカー本来の楽しさを味わうことはできないでしょう。逆に、たった一度の不運から 0-1 で負けてしまったとしても、攻守においてアグレッシブに動き、見ている人をわくわくさせるようなテクニカルなゲームを展開することができれば、そのような試合を演出できる選手たちの方にこそ、サッカー選手としての未来があると言えると思います。言うまでもなく、私は後者を目差して指導をさせていただいております。

次は、どんなゲームを見せてくれるのでしょうか。ぜひ、グラウンドまで足を運んでいただき、子供たちの成長していく姿をご覧ください。そして頑張ったときは褒めてあげてください。お父さんお母さんに認めてもらったときが一番うれしいはずですし、また間違いなくそのタイミングで成長もするはずです。(鈴木 章弘)

小 3

【春の大会に向けて】

3 年生として活動する期間も後少しくなってきました。選手たちには練習前のミーティングでお話しましたがここからは、いよいよ 4 年生になってから行われる横浜市の春の大会を意識して練習を行っていきます。

2 年生の時に決勝トーナメントに進めず悔しい思いをした選手も、初めて大きな大会に出る選手も練習時から常にサッカーが上手になりたい！！試合に勝ちたい！！という意識を持ってもらいたと思います。

ハードな練習内容になると思いますが、子供たちにやっぱりサッカーは楽しい！！と思ってもらえるメニューを用意できるよう努力します。

【ボール蹴る機会を増やしましょう】

みなさんは、週に何回くらいサッカーボールを蹴りますか？選手のみなさんは、暇な時間は何をしていますか？サッカーが上手になりたい人は、暇な時間があつたら家の前でも良いのでボールを蹴る機会を増やしてみてください。普段ボールに触っている人・普段からボールに触っていない人では、大きな差がでできます。

さあ、この文を読んだらボールを蹴ってみましょう！！(丸山 祐人)

小 2

【好奇心】

少し前の話ですが、朝日新聞・天声人語欄にこんな記事が。

「～ルーズベルト元大統領の妻エレノアさんが残した一文にこんな一節が。『母親が妖精に”わが子に最も役立つものを授けて”と願うとしたら、それは好奇心であるべきだと思う』。天の贈り物を周囲がつぶしてはならない、というメッセージだろう。～相通じる思いをノーベル化学賞受賞の下村脩さんが語っている。『子供たちにはほとんど興味を持ったことをやらせてあげて。やめさせたらダメです』。大人の価値観の干渉をクラゲの光を追いつけた学究は戒める。～こちらは物理学賞受賞の益川敏英さん。『本来みんな持っている好奇心が選択式テストの受験体制ですさんでいる。いまの親は教育熱心と言うより教育結果熱心』の指摘はなかなか厳しい。私も親の端くれ、現実はあるものの、この指摘ホントに厳しいと感じます。

私も親の端くれ、現実はあるものの、この指摘ホントに厳しいと感じます。

突然、少し堅い話で失礼しました。実はこの記事を読んで「普段一緒にサッカーを楽しんでいる子供たちから元気をもらっている身として、その元気の源である子供たちから楽しみを奪ってしまうことではないか」と改めて思わされたこともありご紹介しました。もちろん子供たちの個性も様々で接し方にも差が出てしまう(もちろん鼻真ではありません)こともありますが、これからは元気を分けてもらうために彼らの“好奇心”をサポート出来るよう気をつけていきたいと思います。そうそう、我が息らにも多少気遣いせねば。

【インフルエンザ】

大流行のようです。元気に活動に参加できるよう、うがい・手洗い・顔洗い、をお願いします。(小野 津春)

幼児・小 1

【学力だけでなく体力も規則正しい生活習慣】

文部科学省公表した「全国体力・運動能力、運動週間調査(全国体力テスト)」で、小・中学校ともに上位に入った福井県や秋田県では、毎日朝食を食べる率が全国

で上位を占めていることがわかりました。両県は文部科学省が行う全国学力テストにおいても上位で、規則正しい生活習慣が学習・運動の両面に効果的であったことを示しています。

「早寝・早起き・朝ご飯」のスローガンにもあるように子どもたちの成長にとっては、規則正しい生活習慣は不可欠なのです。また、睡眠時間について調べてみると興味深い結果が明らかになりました。それは、よく食べてよく寝る子は太らないが、食べないで寝ない子は肥満度が高いという調査結果です。子どもにはつまらないダイエット法よりも、十分な睡眠が効果的であるということですね。

しかし、神奈川県の小学 5 年生の男女の体格に関しては、肥満よりも「やせている」割合が男子 3.2% (全国 1 位)、女子 3.2% (全国 2 位) と高く、都会特有の問題(食べない・運動しない)も浮き彫りになりました。肥満にしてもやせすぎにしても、規則正しく、しかもバランスの取れた食事が問題解決の最短距離であることは言うまでもありません。

【外で遊ぼう！】

では、体力の低下や痩せている子の割合が高いことの原因は何でしょうか？それには、都心部に近い県内では、運動したり、外で遊んだりする環境が少ないことが考えられます。5 年生ぐらいになると受験のために塾通いの日数が多くなり更に運動する機会が減ることも見逃せません。

運動能力には睡眠や食生活も大きく影響するために、学力同様に総合的な対策が必要であると文部科学省では分析していますが、意外に解決策は簡単で、低年齢の子どもたちが安心して外で遊べる環境を整備することではないでしょうか？幼い頃から体を動かす喜びや汗を流す爽快感を味わうことで定期的に運動することが定着すると、学年が上がるにつれて回数こそ減っても運動する習慣は継続していくはずです。

また、日本ほど運動や芸術を軽視する国は、先進国の中では珍しいと言われていています。受験も運動能力や芸術的な才能で判定してもらえるようになると良いのですが…。

1 週間に 60 分未満しか運動しない小学 5 年生が全国で 13 万人弱います。幼児や小学 1 年生のうち、もっとも外で遊ぶ機会を増やし、体を動かすことをして欲しいものです。昼間のうちにいやと言うほど体を動かせば、夜は早めにぐっすり眠ることになります。そして早めに寝ると早めに目が覚めるというように良いサイクルが生まれます。自然に規則正しい生活になるわけです。テレビゲームに夢中になると神経が高ぶり、脳が緊張状態になり眠れなくなるという調査結果もあります。ゲーム機を手放し、日曜日以外も毎日外でサッカーをしていれば、体力は勿論、学力も身につくということになるはずはです。

(佐藤 敏明)

Papas

【Papas はメンバー募集中です】

昨年 12 月号に【来年度シニアリーグ等参加者募集】「来年度のシニアリーグ等参加チームのメンバーを募集します。」との記事を載せましたが、どうも【Papas】の項に掲載されたせいか誤解ないしは注目されなかったようです。改めてこのトリコロールの紙面で Papas はいつでもメンバーを募集中であるとお伝えしたいと思います。特にサッカー未経験者のお父さんたちを大歓迎しています。

2000 年 6 月にかながわクラブ在籍小学生の父親たちが集まって産声を上げた Papas も 9 年目を迎えます。当初は 30 代中心に 25~26 人であった Papas ですが、その大半はサッカー未経験者、即ちこれまで中学や高校のクラブ活動などでの競技経験がないあるいはないに等しい方でした。だからその活動は、ストレッチの後にはミニゲームを繰り返して、汗をかいてもらい、ゲームを楽しむ中で運動経験を積んで、より健康なスポーツのある日常を獲得してもらおうというものでした。この基本的考え方は未だに変わりません。ただ変わったのはメンバーの方です。

ウルトラマンの如く 3 分間しかピッチを走れなかった方が、ボールを蹴る前に転んでしまう方が、1 年もするとサッカーらしくなってきたのです。それとともにサッカー経験者、それも全国レベルで活躍した方

たちが入部してきて、ますますサッカーらしくなり、否、強くなってきたのです。

特に最近では 40 歳以上の方がシニアリーグの公式戦にでかけた後の港北小のグラウンドでは 30 代のレベルの高い経験者だけでミニゲームを楽しんでいる状況となり、それをご覧になるとともサッカー未経験者が入る余地はないと思われる方もおられると聞きました。

そんなことはありません。一緒になってボールを追っかける楽しさを味わっているうちに何かが変わってきます。ぜひ Papas を体験してみてください。2 回、3 回と体験するうちに、ひと月ふた月が過ぎるうちに、ご自身の変化にきつと気づかれると思います。どうぞ Papas の体験に飛び込んで来てください。決して未経験者でも不愉快な思いをすることはありません。肉体的な辛さを除けば十分楽しめると思います。ここからは先は体験すること、Papas メンバーに直接聞いてみてください、あなたの疑問をお待ちしています。(なお、40 歳以上のシニアリーグ参加希望の方は、12 月号を参照してください。)(茅野 英一)

ヨーガ

【なんか太ってしまったのですけれど…】

お正月気分もすっかり抜けて、生活はいつも通りのリズムをとり戻してきました。ところがいつも通りに戻らないものがひとつ。そうです、体重です。かつては少し増えてもすぐに戻ったと思うのですが、年々戻りにくくなるように感じるのには気のせいでしょうか。

朝バナナダイエットは失敗に終わったし、今度はどうしようかと思っていた矢先、なんと新しい情報を得たのです。なんでも、このサプリメントを食事前に摂ると余分に摂取された脂質や糖質を体内に吸収させることなく排出してしまうとか。「本当かな～…。でも、こういうものに頼ろうということ自体が間違いかしら…。」などと考えます。

このところプチメタボな内田コーチに話をしたところ、「買おう、買おう。」とすごく乗り気。益々なびいている私の心です。

この冬のバーゲンで 50%OFF でゲットし

たインポート物のジーンズをすっきり履き
こなしたいし。そう、ローライズジーンズの
ウエストベルトの上に乗っかるお肉ってす
ごく嫌ですよ。そのプロポヨをつまみつ
つ思案する私です。(伊藤 玲子)

たわごと
理事長の戯言

【総合型クラブネットワーク】

1/24(土)、神奈川県総合型地域スポーツ
クラブネットワーク協議会が設立されまし
た。

県内にある38のクラブに加盟を依頼し、
個々のクラブでは力不足になってしまう部
分を補おうというものです。

できたてのほやほやでまだ何もできる状
態ではありませんが、クラブ同士の連携を
強め、大きな事業が出来るような組織にし
ていきたいと思っています。

きれいな芝生の上でスポーツができるよ
うにしたいですよ。(内田 佳彦)

※敬称略

